

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校穴吹デザインカレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門課程	トータルインテリア学科	夜・通信	59 単位 (1604 時間)	7 単位	
	ゲームクリエイター学科	夜・通信	81 単位 (2370 時間)	10 単位	
	グラフィックデザイン学科	夜・通信	61 単位 (1610 時間)	7 単位	
	ネット動画クリエイター学科	夜・通信	64 単位 (1700 時間)	7 単	
文化教養専門課程	マンガ・コミックイラスト学科	夜・通信	53 単位 (1430 時間)	7 単位	
	地域デザイン学科	夜・通信	29 単位 (820 時間)	7 単位	
() 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://web.anabuki-college.net/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校穴吹デザインカレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元銀行頭取	令和7年5月～令和9年6月	企画・調整
非常勤	新聞社代表取締役	令和7年5月～令和9年6月	企画・調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校穴吹デザインカレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、デザイン業界団体や企業等に依頼した委員からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度3月にホームページにて公表する</p> <p>※シラバスの主な記載項目</p> <p>(1)科目名 その授業の科目名を記載します</p> <p>(2)学科/学年 授業を行う学科名および学年を記載します</p> <p>(3)年度/時期 授業を行う年度および時期(前期・後期)を記載します 単位制の場合は標準履修年次を記載します</p> <p>(4)授業形態 講義もしくは演習、実習等授業形態について記載します</p> <p>(5)授業の回数 授業を行う回数(コマ数)を記載します</p> <p>(6)単位数(時間数) 学則に記載している時間数を単位換算したものを記載します 講義:15時間を1単位とする 演習、実習:30時間を1単位とする 時間数は90分授業の場合、1コマ=2単位時間 50分授業の場合、1コマ=1単位時間</p> <p>(7)必須・選択 必須授業もしくは選択授業について記載します</p> <p>(8)授業担当者 授業を担当する教員名を記載します 複数の教員で担当する場合は全員の氏名を記載します また、実務経験がある教員の場合はその旨を記載します</p>

<p>(10) 授業の目的・ねらい 授業の趣旨を記載します 授業を行うのは教員なので、教員を主語として具体的に記入します また、実務経験がある教員が授業を行う場合は、実務経験をどのように活かして授業を行うかを記載します</p> <p>(11) 授業終了時の達成課題（行動目標） 授業終了時点において学生が修得している必要がある学修成果について記載します 目標を達成するのは学生なので、学生を主体として記載します</p> <p>(12) 授業の内容 授業の各回におけるテーマおよび内容について具体的に記入します ※学生の理解度・実態に応じてやむを得ず変更する可能性もあります</p> <p>(13) 準備学習 授業に臨む前に行っておくべき内容を記載します</p> <p>(14) 使用テキスト 使用するテキストや参考書等を記載します</p> <p>(15) 単位の認定方法及び基準（試験等の評価方法） 評価方法について記載します また、評価基準についてそれぞれの項目の評価割合を記載します</p>	
授業計画書の公表方法	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【学生便覧より抜粋】</p> <p>(成績の評価)</p> <p>①各科目の成績は、原則として年2回の期末毎に、「評定」の形で評価する。 注) 同一名称であっても、末尾にⅠ・Ⅱの記号が付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>②成績の認定は、期末試験の他、出席率・確認テスト・課題・レポート・検定取得状況・平常の授業態度・本人の向上心等を考慮し総合的に判定する。</p> <p>③成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、A、B、Cを合格とする。 A＝科目に対する理解及び日常の学習状況が極めて優秀な者。(80点以上) B＝科目に対する理解及び日常の学習状況が良好な者(70点以上79点以下) C＝科目に対する理解及び日常の学習状況がやや劣る者(60点以上69点以下) D＝科目に対する理解及び日常の学習状況が著しく劣る者(60点未満)</p> <p>④前・後期末試験 前・後期末試験については必ず受験しなければならない。公欠以外の欠席は全て再試験となる。また公欠の場合は追試験を受験しなければならない。</p> <p>⑤再試験 a. D評定の科目を持つ者は学習の機会を与えて再試験を行う。 b. 再試験を受験する場合は、再試験料チケット(1000円/科目)を事前に統合事務局の発券機にて購入しなければならない。</p>	
<p>c. 再試験に合格した者は、評定をCとする。 d. 再試験の実施は合格するまでとする。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【学生便覧より抜粋】</p> <p>(成績に係わる指標の算定方法)</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化(100点満点)し、合格した上でその平均点を算出する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【学生便覧より抜粋】

(トータルインテリア学科)

快適な住まい、空間をデザインするインテリア・ビジネスのスペシャリストとしての、基礎知識・技術を習得し、建築士、インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナー等、業界の第一線で活躍できる人材の卒業を認定する。

(ゲームクリエイター学科)

3D やネットワークプログラミングなどの応用情報を修得させ、キャラクター、エフェクト、ステージ展開、サウンドなどの要素を、様々なプラットフォーム上で構築できる技術と人間力を兼ね備えた人材の卒業を認定する。

(グラフィックデザイン学科)

デザインツールによる実習を通して、デザイナーとしての基礎的な知識と技術を習得し、豊かな創造力と確かな表現力を身につけた人材の卒業を認定する。

(ネット動画クリエイター学科)

動画中心にインターネットを活用した情報発信できる基礎的な知識と技術を習得し、多様性を理解し、信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけ、様々なニーズに応えるコンテンツ制作力を身につけ地域社会・国際社会に貢献できる人材の卒業を認定する。

(マンガ・コミックイラスト学科)

マンガのストーリー構成、企画、表現を学び、マンガ雑誌に投稿できるまでの知識、技術を身につけた人材や、様々な画材の基礎的な技術を習得し、表現力豊かなイラスト制作ができる人材の卒業を認定する。

(地域デザイン学科)

分野横断型でデザインの基礎知識を学びながら、社会の課題や産学連携を生きた教材として個人やグループでのプロジェクトに取り組み、デザインの活用を通して地域社会を豊かにする人材の卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

[https://web.anabuki-
college.net/guide/disclosure/](https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校穴吹デザインカレッジ
設置者名	学校法人穴吹学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://web.anabuki- college.net/download/guide/anabuki_kessan- kansa.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://web.anabuki- college.net/download/guide/anabuki_kessan-

	kansa.pdf
財産目録	https://web.anabuki-college.net/download/guide/anabuki_zaisan-1.pdf
事業報告書	https://web.anabuki-college.net/download/guide/anabuki_jigyohoukoku-1.pdf
監事による監査報告（書）	https://web.anabuki-college.net/download/guide/anabuki_kessan-kansa.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	トータルインテリア 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	65 単位 (1700 時間)	26 単位 (426 時間)	39 単位 (1274 時間)			
			※単位は R8 年度生、 () 内時間は R7 年度生				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		30 人	0 人	2 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 【様式第 2 号の 3 より再掲】 カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、デザイン業界団体や企業等に依頼した委員からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度 3 月にホームページにて公表する
成績評価の基準・方法
（概要） 【様式第 2 号の 3 より再掲】 （成績に係わる指標の算定方法） 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100 点満点）し、合格した上でその平均点を算出する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【様式第 2 号の 3 より再掲】 （卒業認定の条件） a. 成績評価すべて C 以上 b. 年間出席率 80% 以上 原則として上記条件をすべて満たした者。

ただし、卒業条件を満たせなかった者で、相当の事由があると卒業判定会議において認められたとき、卒業を認める場合がある。

学修支援等
(概要) ■個別相談・指導等の対応 担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	1人 (7%)	14人 (93%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 設計事務所、ハウスメーカー、家具製造販売			
(就職指導内容) 学生との個別面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う			
(主な学修成果(資格・検定等)) ※R7年度 インテリア設計士 100% 色彩検定 75%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 問題発見のためのアンケート実施と、学生本人・保護者を交えたガイダンス実施		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ゲームクリエイター 学科	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	92単位 (2400時間)	30単位 (450時間)	62単位 (1950時間)			

			※単位は R8 年度生、 () 内時間は R7 年度生		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	30 人	0 人	4 人	4 人	8 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【様式第 2 号の 3 より再掲】 カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、デザイン・ゲーム業界団体や企業等に依頼した委員からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度 3 月にホームページにて公表する
成績評価の基準・方法
(概要) 【様式第 2 号の 3 より再掲】 (成績に係わる指標の算定方法) 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化 (100 点満点) し、合格した上でその平均点を算出する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【様式第 2 号の 3 より再掲】 (卒業認定の条件) a. 成績評価すべて C 以上 b. 年間出席率 80% 以上 原則として上記条件をすべて満たした者。 ただし、卒業条件を満たせなかった者で、相当の事由があると卒業判定会議において認められたとき、卒業を認める場合がある。
学修支援等
(概要) ■個別相談・指導等の対応 担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、システムエンジニア、プログラマ			

(就職指導内容) 学生との個別面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う
(主な学修成果(資格・検定等)) ※R7年度 サーティファイC言語プログラミング能力検定3級 86% サーティファイC言語プログラミング能力検定2級 25%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 問題発見のためのアンケート実施と、学生本人・保護者を交えたガイダンス実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	グラフィックデザイン学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	講義
2年	昼間	64単位 (1700時間)	16単位 (240時間)	48単位 (1460時間)			
			※単位はR8年度生、()内時間はR7年度生				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		44人	0人	2人	8人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【様式第2号の3より再掲】 カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、デザイン業界団体や企業等に依頼した委員からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度3月にホームページにて公表する
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>(成績に係わる指標の算定方法)</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化(100点満点)し、合格した上でその平均点を算出する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>(卒業認定の条件)</p> <p>a. 成績評価すべてC以上</p> <p>b. 年間出席率80%以上</p> <p>原則として上記条件をすべて満たした者。</p> <p>ただし、卒業条件を満たせなかった者で、相当の事由があると卒業判定会議において認められたとき、卒業を認める場合がある。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (%)	14人 (93%)	1人 (7%)
(主な就職、業界等) 印刷業界、デザイン事務所			
(就職指導内容) 学生との個別面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となっていく			
(主な学修成果(資格・検定等)) ※R7年度 Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード 70%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)
問題発見のためのアンケート実施と、学生本人・保護者を交えたガイダンス実施

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ネット動画クリエイター学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	66 単位 (1700 時間)	16 単位 (240 時間)	48 単位 (1460 時間)			
			※単位は R8 年度生、() 内時間は R7 年度生				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		21 人	0 人	3 人	3 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>【様式第 2 号の 3 より再掲】</p> <p>カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、デザイン業界団体や企業等に依頼した委員からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度 3 月にホームページにて公表する</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>【様式第 2 号の 3 より再掲】</p> <p>(成績に係わる指標の算定方法)</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化 (100 点満点) し、合格した上でその平均点を算出する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【様式第 2 号の 3 より再掲】</p> <p>(卒業認定の条件)</p> <p>a. 成績評価すべて C 以上 b. 年間出席率 80% 以上</p> <p>原則として上記条件をすべて満たした者。 ただし、卒業条件を満たせなかった者で、相当の事由があると卒業判定会議において認められたとき、卒業を認める場合がある。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図ってい</p>

る。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 放送業界、印刷業界（広報関連）			
（就職指導内容） 学生との個別面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う			
（主な学修成果（資格・検定等））※R7年度 色彩検定3級 92%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 問題発見のためのアンケート実施と、学生本人・保護者を交えたガイダンス実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化教養		文化教養専門課程	マンガ・コミックイ ラスト学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼間	64単位 (1700時間)	12単位 (180時間)	50単位 (1520時間)		
※単位はR8年度生、()内時間はR7年度生						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人		31人	0人	5人	6人	11人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、デザイン業界団体や企業等に依頼した委員からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度3月にホームページにて公表する</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>（成績に係わる指標の算定方法）</p> <p>学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合格した上でその平均点を算出する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>（卒業認定の条件）</p> <p>a. 成績評価すべてC以上</p> <p>b. 年間出席率80%以上</p> <p>原則として上記条件をすべて満たした者。</p> <p>ただし、卒業条件を満たせなかった者で、相当の事由があると卒業判定会議において認められたとき、卒業を認める場合がある。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	1人 (9%)	4人 (36%)	6人 (55%)
（主な就職、業界等）			
印刷業界、デザイン事務所			
（就職指導内容）			
学生との個別面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う			

(主な学修成果(資格・検定等)) ※R7年度 色彩検定3級 60%合格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 問題発見のためのアンケート実施と、学生本人・保護者を交えたガイダンス実施		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	文化教養専門課程	地域デザイン学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	講義
2年	昼間	63単位	10単位	29単位	13単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	3人	0人	6人	3人	9人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【様式第2号の3より再掲】 カリキュラム編成、授業科目の内容、方法の充実改善を目的とした「教育課程編成委員会」を設置し、デザイン業界団体や企業等に依頼した委員からの意見・要望を参考にして本校の教育課程の編成について協議するための機関として位置づける。そして、学校は「教育課程編成委員会」の意見・要望を十分に活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善を検討し、教務部が主体となり新たなカリキュラム案を編成して、それを校長が決定する。カリキュラム決定後、教務部が主体となり科目担当者を選出する。その後科目担当者がシラバス案を作成し、それを校長が決定する。作成したシラバスは毎年度3月にホームページにて公表する
成績評価の基準・方法
(概要) 【様式第2号の3より再掲】 (成績に係わる指標の算定方法) 学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目に

<p>ついてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化（100点満点）し、合格した上でその平均点を算出する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>（卒業認定の条件）</p> <p>a. 成績評価すべてC以上</p> <p>b. 年間出席率80%以上</p> <p>原則として上記条件をすべて満たした者。</p> <p>ただし、卒業条件を満たせなかった者で、相当の事由があると卒業判定会議において認められたとき、卒業を認める場合がある。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>担任による定期的なガイダンスや状況により他の教員による臨時ガイダンスを学生相談室や進路指導室等を利用して実施。必要に応じて保護者への連絡・相談・連携を図っている。学習についても小集団・個別に補講や個人支援を実施</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （0%）	0人 （0%）	0人 （0%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
学生との個別面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となっていく			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
問題発見のためのアンケート実施と、学生本人・保護者を交えたガイダンス実施		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
トータルインテリア学科	160,000 円	1,050,000 円	180,000 円	
ゲームクリエイター学科	160,000 円	1,050,000 円	86,000 円	
グラフィックデザイン学科	160,000 円	1,050,000 円	180,000 円	
ネット動画クリエイター学科	160,000 円	1,050,000 円	182,000 円	
マンガ・コミックイラスト学科	160,000 円	1,050,000 円	162,000 円	
地域デザイン学科	160,000 円	1,050,000 円	96,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://web.anabuki-college.net/content/uploads/ADK-hyoka.pdf
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>① 関係者ならでの視点で具体的かつ実践的な評価を受ける</p> <p>② 自己点検評価の適正化、妥当性を客観的に評価する</p> <p>③ 結果として、職業に必要な実践的かつ専門的な能力がより修得できる改善計画を立案し、PDCA サイクルを回し続ける</p> <p>【学校関係者評価委員会規定より抜粋】 (委員の委嘱等)</p> <p>委員会を構成する委員は、5名以上とし、本校の職員以外の者で次に掲げる者のうちから、校長が委嘱する。</p> <p>(1) 保護者 (2) 本校の卒業生 (3) 地域住民 (4) 企業関係者 (5) 高等学校関係者 (6) その他教育に関する有識者</p>
第三者評価の委員

所属	任期	種別
香川県建築事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	業界団体委員
あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	企業等委員
株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	企業等委員
株式会社ウイザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	企業等委員
ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	業界団体委員
株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	元高校関係委員
	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	保護者代表委員
	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	卒業生代表委員
	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	高等学校関係
	令和8年4月1日～令和9年3月31日 (1年間)	高等学校関係
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://web.anabuki-college.net/content/uploads/adk-rating-r3.pdf		
(備考)		
第三者評価は実施していないため、学校関係者評価の情報を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://web.anabuki-college.net/departmen/design/
--